

株式会社日本農業サポート研究所 平成26年度事業実績

年	月	事業内容
2014年	6月～9月	福島県のJAしらかわから依頼を受け、タイへのハトムギ茶輸出のコンサルおよび輸出促進を行い、バンコク・セントラルでの販売が実現した。
	7月～9月	JICA研修コース「普及企画管理者コース」(実施機関:全国農業改良普及支援協会)のインセプションレポートの発表、Facts & Lessons(気づきと生かせる点)の実習、業務改善計画案(JIP Job Improvement Plan)作成などが、JICA筑波国際センターで行われ、弊社代表が助言者として参加した。
	8月～3月	福井県白山地区から、地域興しのコンサルの依頼を受け、弊社代表の人脈を生かし、米の販路開拓等特産物開発などの提案を行った。
	8月～3月	総務省プロジェクト「ICTを活用した農業生産指導システムの実証」において、弊社が海外での現場実証を目的として、NECソリューションイノベータ株式会社から実証試験事業を請負い、タイで実施した。具体的にはチェンマイ県のタナトン農場で、気象ロボットとタブレットを使って、農場本部、農場長、監督者、作業員間で情報共有を行い、カンキツ栽培指導の効率化が可能であることを実証した。
	12月上旬	東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科3年生の学生を対象に、稲泉博己先生担当『バイオビジネス普及論』の特別講義で、弊社代表が「タイでのIT実証試験を通じた日本の普及活動への教訓」と題して講義を行った。
2015年	2月上旬	2月2日、弊社代表がタイ農業普及局の依頼で、日本の農業普及事業とITの活用について講演した。50人以上のタイ人専門技術員などが集まり、活発な質疑が行われた。
	2月末	2月19日に開催された外務省主催「メコン地域における官民協力・連携促進フォーラム第5回会合」の「農業・食品産業」分科会において、弊社代表が「タイにおける農業ICTプロジェクト」について紹介した。
	3月上旬	3月6日、日本農業普及学会・26年度春季大会で、「農産物輸出に果たす普及指導員の役割」をテーマに国際交流セミナーが開催され、弊社代表がコメンテーターとして参加した。